

【普通作物】の【強風・大雨】対策について

<5月>

宮崎県総合農業試験場専門技術センター

【早期水稻】（分げつ期～幼穂形成期）

（1）予想される被害状況

- ① 強風による茎葉の損傷が発生する。
- ② 浸・冠水や土砂の流入が発生する。

（2）事前対策

- ① 強風での倒伏や脱水症状の軽減のため、深水管理とする。
※但し、棚田等で畦畔崩壊の恐れのあるほ場は行わない。
- ② 浸・冠水しやすい水田では、溝切りや排水溝の整備を行う。

（3）事後対策

- ① 風が止むまで湛水状態を保つ。
- ② 浸・冠水したところでは、速やかに排水して新しい用水と入れ替える。
- ③ いもち病や白葉枯病の発生に注意し適宜防除する。
- ④ ほ場に飛散したゴミは、作業や機械に支障を及ぼすので早めに除去する。

【普通期水稻】（育苗・移植期～分げつ期）

（1）予想される被害状況

- ① 育苗ハウスの破損や苗の損傷等が発生する。
- ② 強風による茎葉の損傷が発生する。
- ③ 浸・冠水や土砂の流入が発生する。

（2）事前対策

- ① 田植え前の苗箱は被覆し保護する。
- ② 強風での茎葉の損傷の軽減のため、深水管理とする。
※但し、棚田等で畦畔崩壊の恐れのあるほ場は行わない。
- ③ 浸・冠水しやすい水田では、溝切りや排水溝の整備を行う。

（3）事後対策

- ① 浸・冠水したところでは、排水して新しい用水と入れ替える。
- ② いもち病や白葉枯病の発生に注意し適宜防除する。
- ③ ほ場に飛散したゴミは、作業や機械に支障を及ぼすので早めに除去する。

【ムギ】（出穂期～成熟期）

- ① 湿害により生育不良となり、収量が低下する。
- ② 赤カビ病やうどんこ病等が発生しやすくなる。
- ③ 倒伏が発生する。

（２）事前対策

- ① ほ場周囲及び畦間に排水溝を設置する。

（３）事後対策

- ① 収穫時は赤カビなど被害粒の発生状況を確認し刈分けを行う。
- ② 赤カビは収穫後も多湿条件では発生するので、速やかに乾燥する。